

一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟

2022 年度 事業報告書

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)



目次

p. 3	2022 年度総括
p. 4	役員名簿
p. 5-6	組織戦略センター報告 1. 財政基盤の安定・強化、予算の機動的運用 2. 経営情報アンケートの実施 3. 国内外における製作者との連携、新規市場開拓の支援 4. 広報について
p. 6-7	メディアセンター報告 1. 人件費の値上げを各局へ要望 2. 適正な管理費の確立 3. 「製作取引の適正化」に向けた活動 4. NHK の衛星波減少への対応 5. メディア委員会 6. 製作会社主体のコンテンツ展開推進 7. 「ATP の主張」
p. 7-9	事業センター報告 1. 第 38 回 ATP 賞テレビグランプリ 2. TV CREATORS FES プレイベント 2024 / TV CREATORS FES 2024 東京 3. 育成とセミナー 4. インターンシップ 5. 第 11 回 ATP 若手映画プロジェクト
p. 9-10	関西センター報告 1. 第 10 回 ATP 上方番組大賞 2. TV CREATORS FES プレイベント 2024 / TV CREATORS FES 2024 大阪 3. 関西協議会の開催 4. 適正な管理費の確立
p. 10-18	2022 年度活動記録 (2022 年 4 月～2023 年 3 月) 新人研修、インターンシップ、フェス ATP 賞、Tokyo Docs メディア委員会 局訪問、推進協議会、他
p. 18-19	その他 (総会、理事会、入退会)

【2022 年度総括】

当年度の活動は、依然縮小状況にありました。しかしコロナショックも3年目となり、各事業はオンライン環境を含めたハイブリッド開催によって新しい形となりました。懇親はいわゆるオフラインが最良ではありますが、急速なデジタル化によって時間や距離の制限が解消され、コロナ前と比べ参加者の多い事業もありました。今後も経費節減や効率化においても、ハイブリッド開催は必須になるでしょう。当年度の収支は事業・活動共に支出減少で、黒字決算となりました。詳細は各センターより報告致します。未曾有の事態の中、例年と変わらぬ会員各社のご理解とご協力、そして理事、執行理事並びに各プロジェクトの実行委員各位の活動に深く感謝を申し上げる次第です。

番組製作費の減少は止まりません。放送事業者は、放送以外の事業にも力を入れて安定化を図っているように見えますが、本業である放送コンテンツ制作の消極化が進むのであれば、日本の放送・映像文化は萎んでしまうでしょう。同時に国内大多数の製作者を擁する製作会社は、存亡の危機にさらされます。当年度はそのような視点から、NHK・キー局・準キー局すべてに製作会社が十分な管理費を確保できる様、申し入れを行いました。管理費は製作会社運営に不可欠な費用であり、製作会社との取引では管理費の存在が形骸化しているケースも散見されます。現場責任者の方にも管理費を再認識してもらう様にお願いをしました。会員社が放送事業者と契約する際は、管理費についても改めて交渉していただければと思います。

最大のイベントである ATP 賞受賞式は、コロナ前と同様の応募総数があり、映像業界に明るい話題を提供する顕彰の意義を深めています。関西センター主催の ATP 上方番組大賞は 10 年目を迎え、これまでで最も華やかな受賞式となりました。

継続活動である経営情報アンケート・メディア委員会・「製作取引適正化」に向けた総務省の会合は、計画通り当年度の活動を完了しました。将来に向けた人材不足が深刻になっています。事業センターでは、就活生に向けたイベントにも注力しました。

海外コンテンツの台頭で国内コンテンツ力の強化が喫緊の課題となっている今、当年度は新たな活動として「日韓中テレビ制作者フォーラム」を開催しました。主要事業である Tokyo Docs やアジアドラマカンファレンスと並ぶ海外製作者との連携の場を目指しています。

映像産業変革期において製作会社はどう自立するべきか。アフターコロナとなる次年度は、これまで以上に加速度的に変化が起ころうでしょう。当年度は来るべき大きな波に備え、多面的な活動に取り組んだ一年となりました。

一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟
理事長 福浦 与一

【役員名簿】

当年度は、下記の理事メンバーにて事業活動にあたった 《所属会社、役職は2022年6月当時》

氏名	所属社名	役職	
福浦 与一	IVS テレビ制作(株)	代表取締役社長	理事長
相川 弘隆	(株)いまじんホールディングス	代表取締役社長	副理事長
中川 幸美	(株)クリエイティブネクサス	取締役	副理事長
山田 治宗	テレコムスタッフ(株)	代表取締役	副理事長
伊藤 慎一	(株)シオン	代表取締役会長	理事
碓田 千加志	(株)東阪企画	代表取締役社長	理事
梅景 泰利	(株)ジェイワークス	代表取締役社長	理事
大野 光浩	(株)えすと	代表取締役	理事
荻原 伸之	(株)ジッピー・プロダクション	代表取締役	理事
川口 伸之	(株)大河プロダクション	代表取締役	理事
河野 純基	(株)ダイメディア	代表取締役	理事
田嶋 敦	(株)東京ビデオセンター	代表取締役社長	理事
橘 庸介	(株)レジスタエックスワン	常務取締役	理事
沼田 通嗣	(株)テレバック	取締役	理事
松葉 直彦	(株)テレビマンユニオン	取締役待遇 エグゼクティブプロデューサー	理事
松村 俊二	(株)共同テレビジョン	役員待遇 制作センター権利開発部長	理事
本木 敦子	(株)ドキュメンタリージャパン	代表取締役	理事
山本 篤	(株)エキスプレス	取締役	理事
井口 高志	(株)電通	コンテンツビジネス・デザイン センター シニア・プロデューサー	理事
音 好宏	上智大学文学部新聞学科	教授	理事
吉村 文雄	東映(株)	常務取締役	理事
浦谷 年良	(株)テレビマンユニオン	エグゼクティブプロデューサー	監事
倉内 均	(株)アマゾンラテルナ	取締役会長	監事

【事業報告】

<組織戦略センター>副理事長・センター長 山田治宗

1. 財政基盤の安定、強化、予算の機動的運用

ATP 賞を始めとする主要事業については、独立採算型の予算で安定した運営を推進致しました。新型コロナウイルスの影響のため、前年度に続き、ATP 新春交歓会 2023 は中止となりました。また、TV CREATORS FES 2023、メディア委員会、理事会を始めとする各種会議などもリモート開催としたため、事業費の支出が減少し、全体収支はプラスとなりました。新規会員社の入会は、正会員 2 社、賛助会員 0 社という結果でした。

2. 経営情報アンケートの実施

7 月-8 月にかけて経営情報アンケートを実施致しました。アンケート実施時の会員社数 123 社、回答社数 74 社(昨年度 72 社)で、回答率は 60.2%(昨年度 59.0%)となり、前年度を若干上回る結果となりました。前年度は、全体的にはコロナ禍による一時的な傾向として減収増益となりましたが、当年度は、100 億円未満の社の平均値では、前年比 99.9%の微減収、同 75.8%の大幅減益。業績変化率を見ると 6 割の社が減益、赤字となっており、経営が圧迫されている状況が随所にうかがえる結果となりました。また、著作権保有率は全体的に減少、特に NHK や民放地上波の大幅な減少が目立ちます。ATP として引き続き、放送局や関係官庁などに働きかけ、理解と改善を求めています。

3. 国内外における製作者との連携、新規市場開拓の支援

新型コロナウイルスの影響が依然としてある中、国内外における製作者との連携の一環として「日韓中テレビ制作者フォーラム」を開催しました。リモート開催ではありましたが、日韓中の製作者が一堂に会し「ヒットコンテンツの新潮流」をテーマにトークセッションを行いました。このフォーラムでは、会員各社の情報をまとめたデジタルのクリエイターズファイルを作成しました。また、「アジアドラマカンファレンス」はドラマ製作と IP 化をテーマに、石川県七尾市の協力により対面形式で開催され、国内外 9 か国から作家や製作者が集結しました。世界のドラマ製作の現状や IP 化の事例が紹介され、ドラマ製作の持続可能性について意見交換を行いました。

4. 広報について

ATP 賞の受賞式当日に記者懇談会を開催し、記者の皆様に参加いただきました。記者懇談会では、グランプリ、最優秀新人賞の発表と合わせて「管理費アンケート経過報告」「番組制作現場のハラスメント撲滅に向けて」「2022 年度 ATP 経営情報アンケート」「第 10 回 ATP 上方番組大賞」をそれぞれ報告し、質疑応答を行いました。また、SNS を活用し、ATP 賞、上方番組大賞、TV CREATORS FES 等、ATP の活動の様子を随時発信致しまし

た。その他、ATP ホームページについては、海外戦略や DX 化に伴い随時更新を行い、今後の改修について議論を重ねています。

<メディアセンター> 副理事長・センター長 中川幸美

1. 人件費の値上げを各局へ要望

東京キー局に対して下記「管理費」同様に、制作スタッフの適正な人件費含む価格交渉の場を求めてまいりました。政府に対しても引き続き、ワーキンググループなどの会議の場で現状や課題をご説明する機会を創出していきます。

2. 適正な管理費の確立

管理費は、ディレクターやプロデューサー以外に、製作に直接かかわらない経理・総務・人事などのスタッフ人件費や、事務所の家賃や光熱費など、会社運営に不可欠な費用となっています。メディアセンターでは、2022年5月に会員社へ向けて取引先の放送局から適正な管理費をもらっているかのアンケート調査を行い、その結果を基に10月に要望書を発出しました。同じく7月に発出した「ハラスメント」に関する要望書とともに、東京キー局へ訪問し、主旨をご説明、適正な管理費について放送局・製作会社が協議できる場づくりをお願いしました。

3. 「製作取引の適正化」に向けた活動

ATP が構成員として参加している、総務省放送コンテンツの適正な製作取引の推進に関する検証・検討会議及びワーキンググループでは、「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン(以下、ガイドライン)」の新たな事項として、フリーランスとの適正取引に関して検討が行われました。現行のガイドライン第7版では、契約形態と著作権の帰属について整理表が記載され、受発注時での活用が期待されていますが、より実効性を伴うように、著作権帰属に関する検証・検討を継続していただくよう求めました。ATP と民放連が共同事務局を務めている放送コンテンツ適正取引推進協議会においては、協議会テキストの改訂に伴うオンライン研修会を開催し、同時にオンライン研修会に参加出来なかった方々に向けてアーカイブ配信を行い、製作会社・放送局の皆さまに周知を図りました。

4. NHK 放送波減少への対応

NHK 定期協議において、放送波の減少に伴い製作会社への総制作費が減少する事のないよう検討いただきたいとのお願いをしました。また、実態を把握する為に提示されている外部発注比率の分母を総時間ではなく制作費でご提示いただきたい旨をお願いしました。引き続き次年度の課題として交渉を継続していきます。

5. メディア委員会

下記4回のメディア委員会をオンラインにて開催し、周知、共有に努めました。それぞれのテーマは、下記のとおりです。

第39回 5月17日(火) 15時30分～18時00分

「新入社員が失敗しないための著作権基礎講座」

「音楽著作権講座～基本からYouTubeまで」

第40回 8月4日(木) 16時00分～18時00分

「消費税インボイス制度(適格請求書等保存方法)勉強会」

第41回 10月4日(火) 16時00分～18時00分

「職場におけるハラスメントとは」

第42回 2月15日(水) 16時00分～18時00分

「NHKオリンピック問題はなぜ起こったのか？」～真相の深層に迫る！～

6. 製作会社主体のコンテンツ展開促進

ATPが主催する「Tokyo Docs 2022」は12回目の実施となり、11月1日～15日にわたり、全面オンラインにて開催いたしました。Event Hub社のオンラインシステムをイベントプラットフォームにして、ピッチング・セッション、ワークショップ、オンラインミーティングを実施しました。海外からは19か国・地域から49名のゲストがオンラインで参加し、日本とアジアのドキュメンタリー企画19本のピッチ、短編作品8本の上映やプレゼンテーションを行いました。

7. 「ATPの主張」

メディアセンターにおいて改訂に向けた議論を行いました。具体的な改訂作業を進めるまでには至りませんでした。引き続き次年度の継続項目として放送同時配信などの進展を注視しつつ、環境の変化にも対応できるよう改訂を進めていきます。

<事業センター> 副理事長・センター長 相川弘隆

1. 第38回ATP賞テレビグランプリ

7月12日(火)、第38回ATP賞受賞式を実施いたしました。グランプリには、グループ現代、NHKエンタープライズ制作のE TV特集「“玉砕”の島を生きて～テニアン島 日本人移民の記録～」(NHK Eテレ放送)、最優秀新人賞にはTBS スパークルの竹内みなみさんが選ばれました。当年も前年同様、来場者制限をしつつも、会場にはドラマ部門最優秀賞「金曜ドラマ 最愛」より俳優の松下洸平さんに登場していただき、華やかな受賞式となりました。また、式典に先立ち、記者懇談会も行い、ATPの活動を中心に製作会社の状況を説明しました。受賞式の模様は、VIMEO内ATP賞特設サイトにて、受賞式翌週より、放送局、関連団体、ATP会員社、受賞関係者に向けて配信を行いました。

2. TV CREATORS FES プレイベント 2024／TV CREATORS FES 2024 東京

初めての試みとなる出展社のインターンシップ情報や会社紹介を行う TV CREATORS FES 2024 プレイベントを 12 月 17 日(土)にオンラインで開催いたしました。東京・大阪より 16 社が出展し、開催当日までに約 610 名の学生のエントリーがありました。学生からは、「とても参考になり、楽しく、面白かった。」「会社の個性や雰囲気が知ることができた。」等の声が聞かれました。3 月の TV CREATORS FES への学生動員に繋がる施策として実施したプレイベントですが、次年度も、就活準備期のこの時期に同様のイベントを開催するかは、事業センター内にて成果の検証を行い、検討してまいります。また、3 月 18 日(土)には、番組製作会社合同会社説明会「TV CREATORS FES 2024」を東京と大阪の同日オンラインで開催いたしました。39 社が出展し、学生エントリーは、1277 名となりました。

3. 育成とセミナー

「ATP 合同新人研修 WEB セミナー2022」は、オンラインで 2 日間開催としました。2 日間で計 8 つのプログラムを実施し、特別対談企画として、ネプチューンの堀内健氏に登壇いただき、福浦理事長との対談「映像業界を楽しむために！」が実現しました。研修には、会員社 43 社から 174 名の新入社員が参加し、映像クリエイターとなる為の番組作りの基本や構成の講義に加え、社会人として基本となるマナーやコンプライアンスについて学びました。参加者からは「業界の仕組みや、すべき心構えについて深く楽しく知ることができた。」などの意見が寄せられました。

4. インターンシップ

ATP サマーインターンシップについては、新型コロナウイルス感染症蔓延の状況を鑑み、前年度に引き続き中止といたしました。TV CREATORS INTERNSHIP 2024(半日インターンシップ)は、前期を 6 月～9 月全 10 回、後期を 11 月～2 月全 4 回とし、WEB にて開催いたしました。また、新たに TV CREATORS FES プレイベントや TV CREATORS FES へ、この業界に関心のある学生を動員に繋げる為、【企画】に特化したインターンシップとして『製作者に聞く！人気番組の企画が番組になるまで～番組企画セミナー～』を実施しました。12 月と 2 月に開催し、各回 100 名程の学生が視聴しました。インターンシップには、全国より 1847 名のエントリーがあり、前年の 669 名を上回る 768 名の学生に参加していただく事が出来ました。地道な活動ですが我々の業界を支える未来の人材を確保することに導いてくれることと思います。

5. 第11回 ATP 若手映画プロジェクト

企画の募集を、6月1日より開始し、10月末で締切りました。初めての試みとして、若手映画プロジェクト説明会と併せて第9回の支援作となった『マイスマールランド』の監督やプロデューサーを招いて事例紹介をオンラインで行いましたが、当年度の応募企画はありませんでした。

<関西センター> 理事・センター長 河野純基

1. 第10回 ATP 上方番組大賞

2023年1月24日(火)に第10回 ATP 上方番組大賞の受賞式を、ABCホール(大阪市福島区)にて開催し、受賞式に合わせたセットや照明など、これまで以上に華やかな雰囲気の中で執り行いました。3年ぶりに来場者に人数制限を設けず、受賞者、番組関係者、放送局関係者など併せて約100名が来場しました。受賞式では、受賞者への贈賞とグランプリ及び最優秀新人賞の発表を行い、グランプリは、番組部門と今回新たに新設された短編・コーナー部門より選ばれた優秀賞7作品の中から、番組部門より「マッチング♡ハウス」(メディアプルポ/関西テレビ)が選ばれ、最優秀新人賞には、新人賞4名の中から、山根郁摩さん(メディアプルポ)が輝きました。関西新春交流会については、前年度同様に中止といたしました。

2. TV CREATORS FES プレイベント 2024/TV CREATORS FES 2024 大阪

12月にTV CREATORS FES プレイベント、3月にTV CREATORS FES 2024を東京と大阪合同で、同日開催いたしました。関西会員社からは、プレイベントに2社、TV CREATORS FES 2024には8社が出展しました。プレイベントでは、30分のスペシャルコンテンツ「-先輩クリエイターに聞く-先輩社員の就活と仕事について」と題した講座に、関西会員社の若手社員がオンラインで参加、就活時の経験や仕事について語りました。東京と大阪から若手社員が登壇した事で、関東のみならず関西以西圏の学生にも訴求できるコンテンツとなりました。

3. 関西協議会の開催

10月4日(火)新梅田研修センターにて関西会員社の代表取締役や役員、13社13名の参加により関西協議会を開催しました。協議会では、関西センターの取り組み3本柱である「第10回 ATP 上方番組大賞」や、「働き方改革」、「管理費問題」を中心に協議を行いました。また、ATPで取り組んでいる「ハラスメント問題」や「インボイス制度勉強会」などについても改めて関西会員社に共有しました。

4. 適正な管理費の確立

在阪局との取引においても、状況の把握と適正な管理費の確立を目指し、アンケートを実施しました。次年度に具体的な要望を出すために、放送局へ訪問し、放送局・制作会社が協議できる場づくりをお願いしました。

【2022 年度活動記録】

※敬称略 ※会社名・肩書きは当時のもの

《2022 年》

4 月

●ATP 合同新人研修セミナー2022

日時：4月7日(木)～8日(金) Zoom 開催

参加者：43社 174名

プログラム：

『マナー研修』講師：井原恵津子（オフィス・グランツ）

『コンプライアンス研修』

講師：後藤俊哉（日本テレビ放送網）、杉本光一朗（日本テレビ放送網）

（参考）その他プログラムは、下記 URL または QR コードよりご覧ください。

https://www.atp.or.jp/training/rookie_2022.php



5 月

●Tokyo Docs 2022 ワークショップ #1 「ドキュメンタリーの育て方」

日時：5月11日(水)18:00-20:00 Zoom 開催

内容：Tokyo Docs 2022 開催概要のお知らせ

映画完成までの道のり 松井至監督

Tokyo Docs の使い方 パイリン・ウェデル監督

ドキュメンタリー制作への助成について VIPO

参加者：68名

●第39回メディア委員会

日時：5月17日(火)15:30-18:00 Zoom 開催

内容：第1部 メディアセンター報告

第2部 「新入社員が失敗しないための著作権基礎講座」

講師：福地研志(Field-R 法律事務所)

第3部 「音楽著作権講座～基本から YouTube まで」

講師：東條岳(Field-R 法律事務所)

参加者：31社 271名

アーカイブ視聴数：138回

6 月

●NHK 定期協議

日時：6月13日(火)16:30-17:30
場所：NHK 内会議室
内容：共同著作番組の素材使用
4K、8K 無期限無制限の見直しほか

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：6月14日(火)14:00-17:30 Zoom 開催
参加者：14名
講師：松葉直彦（テレビマンユニオン）
パネリスト：木下俊（いまじん）、小田朋美（AOI.Pro）
大橋祐（グループ現代）、横山祐紀（NHK エデュケーショナル）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：6月24日(金)14:00-17:30 Zoom 開催
参加者：42名
講師：長谷川泰久（アマゾンラテルナ）
パネリスト：加藤信（大河プロダクション）、佐藤慎太郎（ホリプロ）
戸田有司（オルタスジャパン）、横山裕紀（NHK エデュケーショナル）

7月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：7月5日(火)14:00-17:30 Zoom 開催
参加者：37名
講師：桑原慶介（ジッピー・プロダクション）
パネリスト：小田朋美（AOI.Pro）、諸正義彦（東通企画）
谷川輝知（東京ビデオセンター）、永田一行（テレビマンユニオン）

●第38回ATP賞テレビグランプリ受賞式

日時：7月12日(火)17:00-19:00 ※後日期間限定アーカイブ配信
場所：六本木ヒルズ ハリウッドプラザ 5階 ハリウッドホール
来場者：スタッフ、受賞者、プレス、関係者 200名
司会：佐藤 俊吉アナ（NHK）、岩本 乃蒼アナ（日本テレビ）
アーカイブ視聴回数：延べ457回
受賞作品：

▼グランプリ

E T V特集「“玉砕”の島を生きて～テニアン島 日本人移民の記録～」
グループ現代、NHK エンタープライズ/NHK Eテレ

▼最優秀新人賞

竹内 みなみ（TBS スパークル）
ザ・ノンフィクション「山奥ニートの結婚」フジテレビ
(参考) その他受賞作品は、下記 URL または QR コードよりご覧ください。

https://www.atp.or.jp/awards/atpaward/award_038.php



●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：7月22日(金)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：35名

講師：宮澤祐樹(いまじん)

パネリスト：池田葵(大河プロダクション)、宮森翔子(ホリプロ)
菅野誠(テレコムスタッフ)、石田りか(NHKエデュケーショナル)

●[初級]Tokyo Docs Online Workshop #2「ショートドキュメンタリーの今」

日時：7月29日(金)19:00-20:00 Zoom開催

内容：Tokyo Docsの“Short Documentary Showcase”とは

参加者：30名

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：7月30日(木)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：43名

講師：松葉直彦(テレビマンユニオン)

パネリスト：照屋航大(ジッピー・プロダクション)、王識涵(スローハンド)
中川奈緒(東阪企画)、榎原北斗(エー・ビー・シー リブラ)

8月

●第40回メディア委員会

日時：8月4日(木)16:00-18:00 Zoom開催

内容：第1部 メディアセンター報告(NHK協議報告など)

第2部 「消費税インボイス制度(適格請求書保存方法)勉強会」

講師：山田久稔(共同テレビジョン)

参加者：29社 118名

アーカイブ視聴数：131回

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：8月9日(火)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：54名

講師：桑原慶介(ジッピー・プロダクション)

パネリスト：森田祥平(やんかわ商店)、石井満梨奈(テレパック)
石田りか(NHKエデュケーショナル)、柳翔太郎(ダイメディア)

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：8月19日(金)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：50名

講師：宮澤祐樹(いまじん)

パネリスト：碓田千加志(東阪企画)、小野裕昌(メディアミックス・ジャパン)
澁邊恵美(テレコムスタッフ)、山崎卓也(ダイズ)

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：8月30日(火)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：51名

講師：長谷川泰久(アマゾンラテルナ)

パネリスト：前田光祐(シオン)、渡邊崇(テレビ朝日映像)

四宮秀二(パオネットワーク)、岡田凌(レジスタエックスワン)

9月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：9月9日(金)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：43名

講師：桑原慶介(ジッピー・プロダクション)

パネリスト：野尻野翼(クリエイティブ・ジョーズ)、鈴木藍(ホリプロ)

横山裕紀(NHKエデュケーションナル)、田中大瑞(クリエイティブネクサス)

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：9月16日(金)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：45名

講師：宮澤祐樹(いまじん)

パネリスト：松林里奈(IVSテレビ制作)、白石裕菜(ホリプロ)

日向史有(ドキュメンタリージャパン)、若松雅也(メディアブルポ)

10月

●第41回メディア委員会

日時：10月4日(火)16:00-18:00 Zoom開催

内容：第1部 メディアセンター報告

第2部 「職場におけるハラスメントとは」

講師：田中秀憲(ピースマインド)

参加者：29社 144名

●関西協議会

日時：10月4日(火)15:00-17:00

場所：新梅田研修センター

議題：

◇第10回ATP上方番組大賞

・開催方法について ・応募状況

◇働き方改革について

・労働基準監督署調査の事例紹介 ・各社の取り組み 他

◇ATPにおける「管理費問題」に関する取り組み

・現状と動き、関西での取り組み ・関西会員社間での情報共有 他

◇その他のATP取り組みについて

・ハラスメント問題、インボイス制度勉強会 ・海外展開について 他

●NHK 定期協議

日時：10月7日(金)16:30-18:00

場所：NHK 内会議室

議題：BS 波削減の影響

ハラスメント対策の周知ほか

●局訪問

日時：10月26日(水)

フジテレビ 11:00-

議題：「ハラスメント撲滅」「適正な管理費の確立」に向けての要望

11月

●Tokyo Docs 2022

日時：11月1日(火)～11月18日(金) オンライン開催

配信会場：AP 東新宿(東京都新宿区歌舞伎町)

アワード・セレモニー会場：AP 市ヶ谷(東京都千代田区五番町1-10)

内容：

11月1日(火) ピッチング・セッション1

11月2日(水) Short Documentary Showcase／ピッチング・セッション2

11月3日(木)～15日(火) オンライン One on One Meeting

11月18日(金) アワード・セレモニー

参加者：ゲスト：海外49名(19か国地域)、国内11名

企画：メイン19本、短編8本

ライブイベント参加者延べ人数：236名

(受賞企画)

▼Best Pitch Award 最優秀企画賞(2企画)

Tokyo Docs でピッチされた企画の中でディビジョン・メーカーの投票により最も優れていると評価された企画に贈る。開発支援金100万円(日本50万円)。

「アフロート」 “AFLOAT” (India)

「Shaking up Sake ー日本酒が世界に革命を起こす!?ー」 “Shaking up Sake” (Japan)

伊藤 実佳子 (RITORNELLO FILMS リトルネロフィルムズ)

平野 まゆ (RITORNELLO FILMS リトルネロフィルムズ)

▼Excellent Pitch Award 優秀企画賞(5企画)

Tokyo Docs でピッチされた企画の中でディビジョン・メーカーの投票により優れた企画として評価されたものに贈る。開発支援金各50万円。

① “WAGASHI - THE ART OF JAPANESE SWEETS” (Japan)

足利 広 (TOKYOVISION トーキョーヴィジョン)

古谷 秀樹 (WOWOW)

② 「俺たちの“プレイキン”」 “Jump On It!” (Japan)

寺峯 時男 (TOKYO VIDEO CENTER 東京ビデオセンター)

土井 研吾 (TOKYO VIDEO CENTER 東京ビデオセンター)

③ 「リウ・リーの秘密」 “Liu Li's Secret” (China)

Ruozhou Fan (F-IMAGE Studio)

Daishan Chen

- ④「大きな家」 “A Big Home” (Japan)
竹林 亮 (CHOCOLATE チョコレイト)
山本 妙 (Pao Network パオネットワーク)
- ⑤「エレファントの叫び」 “UNSPOKEN SOULS The Elephants’ Alarm for Our Future” (Thailand)
奥野 安彦 (K.M.Tomyam ケーエム ・ トムヤム)
佐保 美恵子 (K.M.Tomyam ケーエム ・ トムヤム)
Koh Okuno 奥野 光 (K.M.Tomyam ケーエム ・ トムヤム)
- (参考)その他詳細は、下記 URL または QR コードよりご覧ください。
<https://tokyodocs.jp/news/fl5e4tY6>



●局訪問

日時：11月9日(水)
テレビ朝日 11:00- 日本テレビ 13:00- TBS 15:30- WOWOW 17:00-

日時：11月11日(金)
NHK 13:00- テレビ東京 15:00-

議題：「ハラスメント撲滅」「適正な管理費の確立」に向けての要望

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：11月11日(金)14:00-17:30 Zoom 開催
参加者：39名
講師：宮澤祐樹 (いまじん)
パネリスト：安戸あゆみ (ジッピー・プロダクション)、芳川茜 (共同テレビジョン)
近藤剛 (パオネットワーク)、浦野隼 (東京ビデオセンター)

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：11月26日(土)14:00-17:30 Zoom 開催
参加者：35名
講師：松葉直彦 (テレビマンユニオン)
パネリスト：木下俊 (いまじん)、櫻田惇平 (ホリプロ)
広瀬将平 (スローハンド)、成瀬貴紀 (クリエイティブネクサス)

12月

●Tokyo Docs ドキュ・メント 2022

日時：12月3日(土)～4日(日)
場所：本照寺、寺子屋みろく(品川区北品川2-20-14)
内容：制作者によるトーク&上映会 など
(参考)その他詳細は、下記 URL または QR コードよりご覧ください。
<https://www.document.com/>



- 製作者に聞く！【企画】が番組になるまで～番組企画セミナー～
日時：12月2日(金)15:00-17:00 Zoom ウェビナー開催

事前エントリー：121名
当日視聴学生：95名
モデレーター：松葉直彦（テレビマンユニオン）
登壇者：富田大介（シオン）、井上啓子（クリエイティブネクサス）、東田陽介（テレパック）

●日韓中テレビ制作者フォーラム

日時：12月6日（火）10:00-18:00 Zoom開催
参加者：視聴数、合計127名（※うちパネリスト16名）
プログラム

◇シンポジウム 「ヒットコンテンツの新潮流」

モデレーター：音好宏（放送批評懇談会理事長 上智大学教授）
（登壇者）

韓国 ドラマ『The Red Sleeve（赤い袖先）』

MBC（韓国文化放送）監督 ジョン ジイン（Chung, Jeein）

日本 ドキュメンタリー『ピエロと呼ばれた息子』

CBC テレビ ディレクター原誠

中国 ドキュメンタリー『March of The Elephants』

Colorful Nature Films ディレクター オリヴィア チェン（Olivia Chen）

◇ワークショップ「国際協業の可能性」

モデレーター：大場吾郎（佛教大学教授）
（登壇者）

韓国 音楽ラジオ『IDOL RADIO LIVE IN TOKYO』

MBC（韓国文化放送）ラジオプロデューサー ソン・ハンソ（SOHN HANSEO）

ドキュメンタリー『The 6th Mass Extinction』

EBS フリーランサー PD ペク・ボム（BAEG BOM）

中国 ドキュメンタリー『A Long Cherished Dream』

ARTEFACT Entertainment プロデューサー ミョウ・トン（Miao Tong）

リアリティショー『Street Dance of China』

Youku プロデューサー ワン・ジュンペン（Wang Junpeng）

日本 ドキュメンタリー『About Her “82年生まれ、キム・ジョン”』

《a》プロデューサー 林 健嗣

バラエティ『はじめてのおつかい』

エフロード チーフディレクター 大内淳嗣

●TV CREATORS FES 2024 プレイベント

日時：12月17日（土）10:00-17:00 オンライン開催
出展社：16社（東京14社／大阪2社）
エントリー学生数：609名
イベント合計総視聴数：2062

●放送コンテンツの適正な製作取引の推進に関する検証・検討会議（第21回）（第18回）WG合同会合

日時：12月23日（金）10:00-12:00 リモート開催

議題：(1)製作取引適正化に向けたガイドラインの遵守状況調査結果

(2)放送番組製作に携わる番組製作会社・フリーランスに対するヒアリング結果

(3)令和4年度フォローアップ調査

(4)その他

《2023年》

1月

●Tokyo Docs 2022×上智大学共催 オンライン上映・トークイベント

日時：1月10日(火)～1月20日(金) Vimeo配信/Zoom開催

内容：上映会テーマ「国際共同製作から見えてきたバリアフリーの世界」

『私だけ聴こえる(英題"ONLY I CAN HEAR")』(松井至監督/2022年)上映

トークイベント：1月18日(水) 18:00-19:30 Zoom開催

登壇：松井至(リトルネロフィルムズ)、平野まゆ(リトルネロフィルムズ)

司会 音好宏(上智大学) 進行 山本妙(パオネットワーク)

参加者：168名

アーカイブ視聴回数：239回

●NHK 定期協議

日時：1月13日(金)16:00-18:00

場所：NHK 内会議室

議題：BS 波削減の影響

8K 無期限無制限の見直しほか

●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：1月17日(火)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：32名

講師：長谷川泰久(アマゾンラテルナ)

パネリスト：吉見仁志(ABCリブラ)、馬場令華(やんかわ商店)

山崎凱斗(ダイズ)、高木智和(テレビ朝日映像)

●関西局訪問

日時：1月18日(水)

読賣テレビ 13:00- 関西テレビ 14:20- 毎日放送 16:30-

日時：1月20日(金)

テレビ大阪 15:00- 朝日放送 17:00-

日時：1月25日(水)

NHK大阪 17:15-

議題：新春のご挨拶と「管理費」についての意見交換

●第10回ATP 上方番組大賞 受賞式

日時：1月24日(火)

場所：ABCホール

司会：柴田博(朝日放送テレビ)

高橋真理恵(関西テレビ放送)

グランプリ【マッチングハウス】

(株式会社メディアプルポ / 関西テレビ)

最優秀新人賞【山根郁摩(メディアプルポ)】

(参考)その他受賞作品は、下記 URL または QR コードよりご覧ください。

https://www.atp.or.jp/awards/atpaward_kansai/award_010.php



●TV CREATORS INTERNSHIP 2024

日時：1月31日(火)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：37名

講師：桑原慶介（ジッピー・プロダクション）

パネリスト：蜂谷時紀（テレビマンユニオン）、嶋和也（吉本興業）
原佑基（ドキュメンタリージャパン）、有馬香里（AOI.Pro）

2月

●製作者に聞く！【企画】が番組になるまで～番組企画セミナー～

日時：2月13日(月)15:00-17:00 Zoomウェビナー開催

事前エントリー：141名

当日視聴学生：116名（最大）

モデレーター：松葉直彦（テレビマンユニオン）

登壇者：齋藤郁恵（えすと）、稲垣綾子（パオネットワーク）
浅井千瑞（メディアミックス・ジャパン）

●第42回メディア委員会

日時：2月15日(水)16:00-18:00 Zoom開催

内容：第1部 メディアセンター報告

第2部 「NHKオリンピック問題はなぜ起こったのか？」～真相の深層に迫る！

講師：高田昌幸（BPO 放送倫理検証委員会 委員長代行）

長嶋甲兵（BPO 放送倫理検証委員会 委員）

参加者：19社 70名

●放送コンテンツ適正取引推進協議会「よくわかる放送コンテンツ適正取引 オンライン研修会」

日時：2月20日(月)15:00-17:00

場所：Zoomによるリモート開催

参加者：228名

講師：野瀬 洋一（民放連・下請取引専門部会副部会長

／(株)テレビ朝日・総務局コーポレート情報事務局長)

松村 俊二（ATP理事／(株)共同テレビジョン・役員待遇 制作センター権利開発部長）

3月

●TV CREATORS FES 2024 東京・大阪合同開催

日時：3月18日(土)10:00-19:00 オンライン開催

出展社：39社（東京31社/大阪8社）

エントリー学生数：1277名

イベント合計総視聴数：7613ビュー

【その他】

1. 総会

●第10回通常総会（決算総会）

日時：2022年6月7日(火)16:00 - 17:00

場所：コンベンションホール AP 浜松町 地下1階「A ルーム」及びリモート会議

審議事項：

第1号議案 2021年度事業報告書および決算報告書 承認

第2号議案 役員改選に伴う理事、監事について 承認

報告事項： 2022年度事業計画、2022年度収支予算

2. 理事会 2022年度の理事会は、全5回開催しました。

●第56回定例理事会

日時：6月7日(火)14:30-15:30

場所：AP 浜松町

審議事項：

私的録画補償金について 承認

日脚連「再放送使用料改訂」について 承認

放送番組センター「基本協定書改訂案」について 承認

●第57回定例理事会

日時：10月18日(火)15:00-16:30

場所：リモート会議

審議事項：

適正な管理費の確立要望書について 承認

新規加盟社 株式会社フレックス 承認

●第58回定例理事会

日時：11月25日(金)15:00-16:00

場所：ビジョンセンター浜松町

審議事項

JPPA AWARDS2023 後援名義申請について 承認

●第59回定例理事会

日時：2023年1月27日(金)15:00-16:30

場所：リモート会議

報告事項のみ

●第60回定例理事会

日時：2023年3月22日(水)15:30-17:00

場所：リモート会議

審議事項：

2023年度事業計画書(案)について 承認

2023年度予算書(案)について 承認

2022年度事業報告書(案)について 承認

3. 入退会

●入会

株式会社ジーヤマ(4月)

株式会社フレックス(11月)

●退会

なし

以上